



Shizuoka Virtual Medical College

しずおかバーチャルメディカルカレッジ

77大学1,806人が利用する
国内最大級の医学生向け奨学金

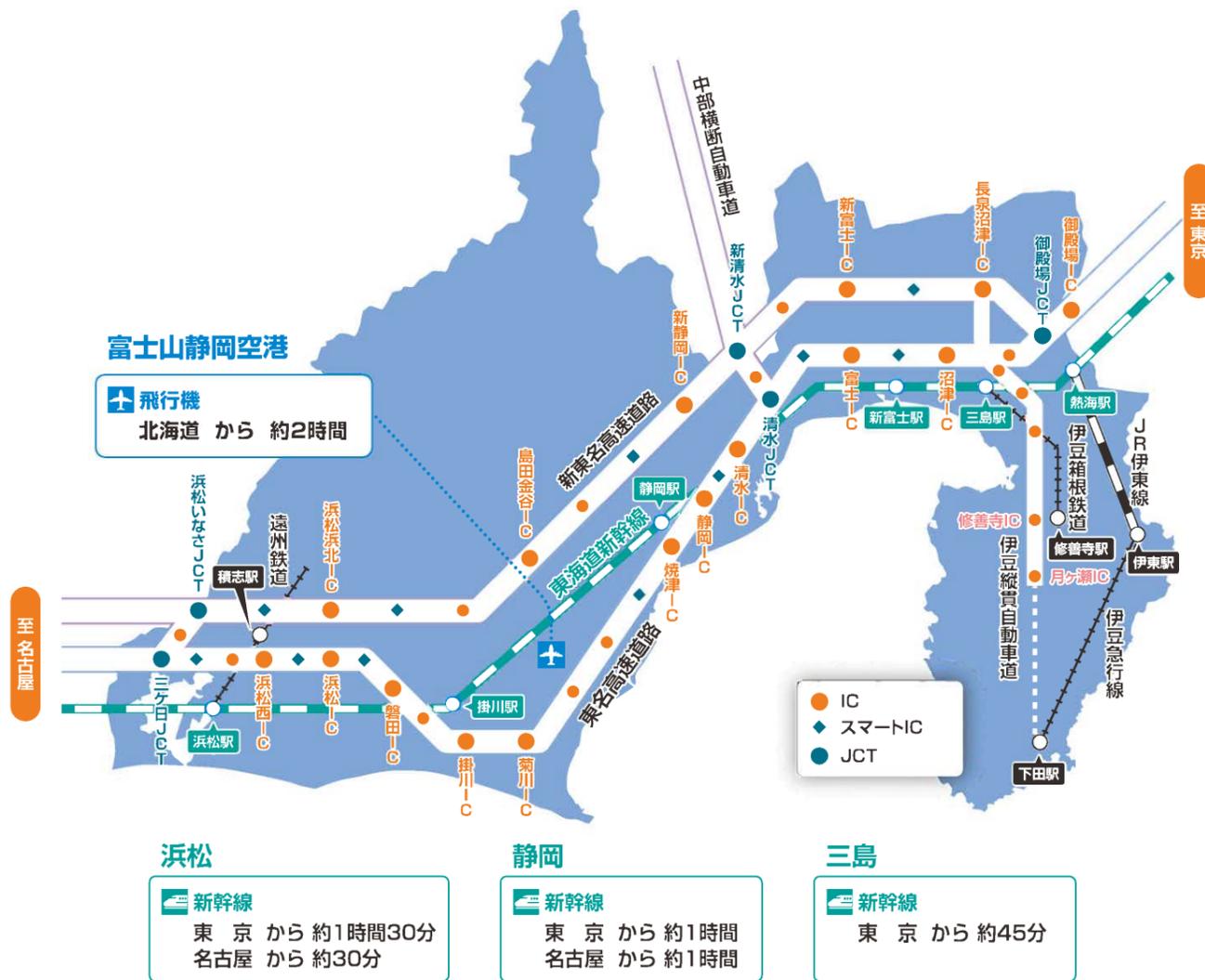
静岡県医学修学研修資金制度



「ホップステップを頑張れば
ジャンプは自ずとついてくる」

静岡社会健康医学大学院大学 教授／研究科長
静岡県立総合病院 ゲノム医療センター長／ゲノム医療支援科部長

臼井 健 先生



静岡県地域医療支援センター

事務局

所在地：〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
静岡県健康福祉部 医療局医療人材課 内

TEL：054-221-2868
E-MAIL: chiikiiryuu@pref.shizuoka.lg.jp

医師就労等相談窓口

浜松医科大学

所在地：〒431-3192 浜松市中央区半田山1丁目20-1
浜松医科大学医学部附属病院 卒後教育センター内
TEL：053-435-2873
E-MAIL: tiikiiryousienn@hama-med.ac.jp

静岡社会健康医学大学院大学

所在地：〒420-0881 静岡市葵区北安東4-27-2
静岡社会健康医学大学院大学 医師配置連携室内
TEL：054-295-5419
E-MAIL: vmcfujinokuni@s-sph.ac.jp

スマホからもチェック！

静岡県地域医療支援センター



イベント情報などを掲載しています！！

医学修学研修資金の募集情報、
医師のメッセージ、病院合同説明会、
バスツアー など

本冊子はインターネット
からもご覧いただけます。



ようこそ、 しずおかバーチャル メディカルカレッジへ



CONTENTS

- 02 | メッセージ
- 03 | 「ホップステップを頑張れば
ジャンプは自ずとついてくる」
静岡社会健康医学大学院大学
教授／研究科長
静岡県立総合病院
ゲノム医療センター長／ゲノム医療支援科部長
白井 健 先生
- 05 | 先輩医師の声
山本 佳苗 先生
- 06 | 静岡県次世代医師リクレーター
- 07 | 医学修学研修資金利用者の声
氏田 彩花さん 土屋 花優さん
- 08 | 全国の奨学金利用者からの声
- 09 | しずおか
バーチャルメディカルカレッジの紹介
- 11 | 静岡県医学修学研修資金制度
- 15 | 静岡県内臨床研修病院の魅力
沼津市立病院
静岡市立清水病院
磐田市立総合病院
- 19 | 特集ページ
- 21 | 静岡県地域医療支援センター
- 22 | 静岡県ってどんなところ？

しずおかバーチャルメディカルカレッジ理事長



静岡県知事

鈴木康友

幸福度日本一の静岡県で活躍を

この春から医学部に進学される皆様、医師としての第一歩を踏み出された皆様に心よりお祝い申し上げます。

静岡県は、全国有数の「ものづくり県」であり、多彩な産業の集積が進んでいるほか、富士山や南アルプス等の雄大な山々、駿河湾から遠州灘にかかる美しい海岸線や浜名湖、伊豆半島を中心とした日本有数の温泉資源など、豊かな自然環境に恵まれています。また、東名・新東名高速道路や東海道新幹線、富士山静岡空港といった、暮らしやすい交通アクセスなど、多くの強みとポテンシャルを有する素晴らしい県です。

本県では、県内で働く医師を養成するため、平成26年に、このバーチャルメディカルカレッジを創立しました。ここでは、静岡県医学修学研修資金制度の利用者に対し、県内勤務を促進する取組やウェブを活用した情報発信などを行っており、全国どこの医学部に入学しても本県の地域医療の魅力を学ぶことができます。令和7年4月現在、ここで“学んだ”759人の方が本県の医療に貢献いただいております。

また、浜松医科大学、順天堂大学と連携協定を締結するなど、卒業後の皆さんの医師としてのキャリアを支援するため、指導体制の強化も進めています。

本カレッジの学長である宮地良樹先生は、静岡社会健康医学大学院大学の学長として、公衆衛生学にゲノム医学・医療ビッグデータ解析などの新領域を加え、県民の皆様の病気予防・健康寿命延伸の推進にも御尽力されています。

しずおかバーチャルメディカルカレッジで学んだ皆様が、本県の地域医療の第一線で御活躍いただき、幸福度日本一の静岡県の実現と一緒に目指してくださることを御期待申し上げます。

略 歴

- 昭和32年 浜松市生まれ
- 昭和55年 慶應義塾大学法学部卒業
- 昭和60年 財団法人松下政経塾卒業
- 平成12年 衆議院議員(2期)
- 平成19年 浜松市長(4期)
- 令和3年 指定都市市長会会長
- 令和6年 静岡県知事

しずおかバーチャルメディカルカレッジ学長



宮地良樹

医療へのこころざしある仲間が 集う静岡県に

このガイドブックを手にとった皆さんは、医療を通じた社会貢献や病気を抱えた患者さんの治療を夢見て、医師になるため、日々の勉学に励んでいることと思います。

皆さんのこころざしを支えるため、静岡県は、このバーチャルメディカルカレッジを創立し、皆さんに県内で思う存分活躍していただけるよう、在学中から静岡県の地域医療の魅力に触れる機会を提供しています。

本カレッジでは、医学生を対象とした夏季セミナーを開催しており、全国各地の医学生が参加し、静岡県の医療を知っていただく機会を作っています。

また、静岡社会健康医学大学院大学では、第一線の医療現場にいる医師が働きながら専門的な研究ができる環境を用意しています。2024年からは、遺伝医療の観点から心理的・社会的に患者を支援する「遺伝カウンセラー養成コース」が創設されました。このように、社会健康医学の学識を社会に還元し、医療・保健・福祉の向上に貢献できるプロフェッショナルな人材の育成に取組んでいます。

静岡県には、充実した学びの場があり、こころざしある優れた医師が集まっています。是非皆さんも仲間となつていただき、力を合せて静岡県の地域医療を支えていこうではありませんか。

皆さんが、将来、静岡県で末永く御活躍されることを期待しています。

略 歴

- 昭和26年 静岡市生まれ
- 昭和52年 京都大学医学部卒業
- 昭和60年 医学博士(京都大学)
- 平成4年 群馬大学医学部皮膚科教授
- 平成10年 京都大学大学院医学研究科皮膚科教授
- 平成26年 滋賀県立成人病センター(現滋賀県立総合病院)病院長
- 京都大学名誉教授
- 令和3年 静岡社会健康医学大学院大学学長 現在に至る



静岡社会健康医学大学院大学



静岡県立総合病院



「ホップステップを頑張れば ジャンプは自ずとついてくる」

静岡社会健康医学大学院大学 教授／研究科長
静岡県立総合病院 ゲノム医療センター長／ゲノム医療支援科部長

臼井 健 先生
Dr. Takeshi Usui

これまでの医師としての来歴

1983年3月、滋賀医科大学を卒業し、1983年6月より京都市立病院内科研修医になりました。1985年4月、京都大学大学院医学研究科(分子医学系専攻)に入学し1989年3月に同大学院を修了。同年4月に京都大学医学部第二内科医員に就き、1990年4月からは研究員として米国オレゴン健康科学大学ヴォラム研究所に赴任、1994年6月には国立京都病院臨床研究部主任研究官に着任しました。

2004年4月から国立病院機構京都医療センター臨床研究センター内分泌研究部臨床内分泌代謝研究室長就任と同時に、京都大学臨床教授(内分泌代謝内科)に就任し2021年まで兼任しました。

また、2016年からは遺伝診療科部長として静岡県立総合病院に着任。その後、静岡県立大学、慶應義塾大学の客員教授を兼務しながら、2025年からは公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学研究科長に就任し、静岡の医学のために邁進しています。

これまでの医師としての経歴

滋賀医科大学在学中は、硬式テニス部に所属し、テニスばかりしていたと言っても過言ではない学生時代でした。受験を終えて自由に、そして少し大人にもなって、大学時代には楽しい思い出がありません。

大学卒業後は内科に進みたいと考え、内科全てをロー

ーションできるプログラムがある京都市立病院に進みました。これは私だけではないと思いますが、同じような境遇の人しかいない大学時代と比べ、社会人一年目はいろいろな人と触れ合う機会が一気にやってきて、カルチャーショックを受けました。ただ、大学時代に打ち込んだ硬式テニス部の活動が役に立ち、医療には不可欠なチームワークにはすんなりと馴染めました。

また、転機はこの時代にありました。内科の研修医時代、尿崩症の患者さんを診察した時のことです。尿崩症はホルモンの分泌異常によって、1日に数リットルもの尿が出てしまう病気です。そのホルモンは、血中濃度で言えば「pg/ml(ピコグラム・パー・ミリリットル)」。50メートルのプールに耳かき1杯くらいの濃度のホルモンの不足で、このような症状が出てしまう。「ホルモンってすごい」と、衝撃を受けました。この患者さんと出会ったことで、内分泌の勉強をしようと思え、当時、内分泌の研究では圧倒的にトップを走っていた京都大学大学院の第2内科に進みました。



米国で2年半、遺伝子の研究を

学位を取得した後、京都大学の先輩が留学していた時の恩師が、ボストンからポートランド健康科学大学に移られた縁もあり、オレゴン州ポートランド健康科学大学ヴォラム研究所に留学しました。ここではショウジョウバエを使って遺伝の研究をしていました。バエは2週間くらいで世代交代していくため、何世代もの観察が容易です。当時は「医者なのにどうしてバエの研究をしているんだろう」と思いましたが、帰国後、患者さんから採取したDNAを解析し、遺伝子のどこに変化があるのかを素早くチェックする際には、米国で身に着けた遺伝子解析スキルが活き、これが「私の仕事」と実感。コツコツと培ったものが今私の根底にあります。

内分泌の珍しい症例を後世に

京都では内分泌の症例をたくさんみてきました。京都大学の関連病院だったため、珍しい症例が全国から集まります。症例報告は、最初はn=1ですが、蓄積されていけばnは20や50になります。それを論文やデータにまとめ、研究が将来発展するための礎になればいいな、という思いでした。データが蓄積されれば、やがてn=何万にもなり、自ずと研究は進みます。

ここ静岡では、大学院の教官、研究科長、遺伝カウンセラー養成コースの責任者を務め、今もなお、静岡県立総合病院で内分泌と遺伝カウンセリングの外来も行っています。

医師を目指す人へのメッセージ

静岡県立総合病院の魅力は、圧倒的にハイボリュームセンターであるということが挙げられます。患者数が多い



大学院の学生と研究ミーティング

ので、専門医にとって、非常に魅力的な病院だと言えます。また、研究にも理解がある病院であり、条件を満たせば医学研究に奨励金も出ますし、図書館の充実度は他の病院と比較にならないほどです。研究する環境が整っています。

医者はやりがいのある仕事です。人を助けることができる職業である、それに尽きます。私は両親がふたりとも医者でしたが、高校生になるまで医学を目指そうとは思いませんでした。姉が医学部に進学したことで、その背中を見て医者を目指したのですが、良い選択をしたと思っています。

一つ誇れるところがあるとすれば、どの時代でも、手を抜かなかったこと。与えられた場所で手を抜かないことはとても大事です。頭の良い人は、うまくいかない時はつい手抜きをしてみたいくなるかもしれませんが、そんな時こそコツコツと頑張ってもらいたいです。若い頃に手を抜かず地道に努力して、最初のホップステップを頑張れば、最後のジャンプは必ずついてきます。大きく飛躍するためにも、若い頃に努力を惜しまないで前進してください。



大学院の基礎医学研究ができるウェットラボで木下教授と



医学修学研修資金

利用者の声



中東遠総合医療センター
初期研修医2年目

山本 佳苗 先生

浜松医科大学卒業/静岡市清水区出身
(第11期次世代医師リクルーター)

医師を目指した動機

幼少期に川崎病で2度入院を経験しました。その際に、病院スタッフの方々にやさしく接していただき、病院で働くことに漠然とした憧れを持ちました。高校生になり、静岡県主催の医療従事者に興味のある高校生を対象とした「こころざし育成セミナー」に参加し、直接現役医師の話聞き、自分も医師として患者を救いたいという気持ち生まれ、医師を目指すことにしました。

医学生時代のエピソード

大学4年生の病院実習時に整形外科に入院された患者さんを初めて担当しました。手術にも入らせていただき、術前に病状や困り事を細かくお聞きしていたことから、術後のリハビリを経て、しっかりとした足取りで歩いている姿を目にした時は感動しました。

座学で勉強しているという病気を治すという点ばかりに注目してしまいましたが、これから自分たちが関わっていくのは患者さん一人一人の人生であり、病気という側面だけでは捉えきれないということを実感しました。

研修先病院を選んだ理由と魅力

中東遠総合医療センターは掛川市、袋井市を中心とした中東遠地区の三次救急を担う基幹病院です。私は大学まで静岡市や浜松市といった静岡県内でも比較的医療資源の豊富な地域で過ごしていたため、医師少数区域に位置する病院の医療体制を知りたいという気持ちで最初の見学に訪れました。その際に院内全体で研修医教育を大切にしている温かい雰囲気が伝わってきて、こんな環境で働きたいと思ったのを覚えています。また救急科見学の際に、当院は県内トップクラスの救急症例数を持つ中で全ての症例において研修医がファーストタッチを行い、その先のアセスメントやコンサルトに至るまで上級医の指導下で数多くの症例を経験することができると知りました。初期研修の2年間で幅広い知識や対応力を身に付けるのに最適な環境だと思ったので、2度の見学と2週間の病院実習を経て最終的に当院に決めました。

実際に研修がはじまり、医療を学ぶ環境が整っていることはもちろん、上級医やコメディカルの方々に気軽に相談できる空

気感に魅力を感じています。分からないことを分からないと気軽に言える環境なので、働く上での不安が少なく、小さな疑問解消の積み重ねで成長することができます。また研修医室にカルテが数台あるため、空き時間には同期や先輩と出会った症例を共有して切磋琢磨しています。

初期研修後の進路について

現在は初期研修医として勤務しており、来年度からは産婦人科を専攻する予定です。元々がん診療に興味があり、がんに関わる診療科に進みたいと考えていたところ、産婦人科ではがんに対する予防から診断、内科的・外科的治療までを一貫して一つの科で行うことができるという魅力的な点に加え、出産を初めて見学した際に大きく心を動かされ、出産という女性の人生の大きなイベントをサポートしたいと思ったためです。

静岡県の医療の素晴らしさと病院選びのアドバイス

少子高齢化が進行して医療ニーズが増加する現代において、県民が持続的に適切な医療を受けられるように「静岡県地域医療構想」が策定されています。ここでは各地域の現状や将来の医療需要について推計を踏まえながら医療提供体制の方向性について明示され、県民が安心して生活できる医療の充実が図られています。

研修医の目線では、静岡県には様々な特色を持つ病院が揃っているため、病院選びに関して非常に恵まれた環境だと思えます。指導体制や力の入れどころは病院によって様々ですが、初期研修をどのような2年間にしたいのか、病院探しの軸を決めた上でたくさんの病院を見学することをおすすめします。皆さんが自分の目標にぴったりの研修先に出会えるよう応援しています。



静岡県の地域医療の魅力を発信します！ 静岡県次世代医師リクルーター

静岡県では、県内で活躍する若手医師を“静岡県次世代医師リクルーター”として委嘱し、本県の地域医療の魅力や情報を発信しています。現在、30名の若手医師が活躍中です。



主な活動内容

- ・医学修学研修資金利用者意見交換会で医学生等と交流
- ・静岡県地域医療支援センターメールマガジンへの寄稿
- ・高校生等向け講演会出席



メールマガジンでリクルーターの先生からのメッセージを配信しています！

順天堂大学医学部附属静岡病院 中嶋 慎太郎 先生（令和7年7月掲載）

ご覧いただきありがとうございます。順天堂大学医学部附属静岡病院で研修医2年目として働いております、中嶋慎太郎と申します。私は富士市で生まれ育ち、大学は順天堂大学に当時できたばかりの静岡県地域枠に一期生として入学しました。そして大学の附属病院である当院を研修先として決めました。まずは静岡病院の紹介をさせていただきます。

順天堂大学医学部附属静岡病院は伊豆半島の医療を支える要となる病院であり、救命救急センターを持つ他、ドクターヘリ運用病院でもあり、24時間救急患者の受け入れを行っています。大学病院としての機能と地域中核病院としての機能を併せ持ち、発熱や腹痛などのcommon diseaseへの対応もあれば、稀な疾患、近隣病院では対応困難な重症疾患の治療も日常的に行われており、幅広い経験を積むことができます。

また、同期が多いことも魅力の一つです。いつでもお互い相談し合える環境で日々高めあいつつも、プライベートでは一緒に釣りやキャンプと伊豆の自然を楽しんだり、研修医寮の駐車場でBBQをしたりと毎日充実しています。

さて、研修病院の選び方ですが、マッチングの第一志望や特定の地域に限らず色々な病院を見て回るのがいいと考えています。

多くの病院を見ると単純に選択肢が広がるのもそうですが、それぞれの病院には少なからず他にはない特色が一つはあります。その病院の規模、どのような患者が来るか、取り入れている制度、コメディカルの業務範囲などを知ることで新しい知見が生まれ、今後の仕事に活かす鍵になるかもしれません。それを時間があって自由な立場で見れるのは学生のうちだけです。

ただ学生も実習に部活に遊びに色々忙しくて見学になかなか時間を取れないかと思います。そこで静岡県が開催している病院見学バスツアーを利用すると1日に3つの病院を見学できて、見学のための諸々の手続きや移動もサポートしてもらえます。ぜひ予定が合えば参加してみてください。

皆さんが自分に合った研修病院を見つけ、将来静岡県で一緒に働けることを楽しみにしております。



県内で活躍するリクルーターのメッセージはこちらからご覧いただけます。



医師を目指したきっかけ

小学生の頃、障がいのある同級生と一緒に授業や行事に取り組む中で、みんなが同じようにできるわけではないと感じたことをきっかけに、1人ひとりの発達段階に向き合える小児科医を目指しました。

静岡県医学修学研修資金について

私立大学医学部も奨学金があれば進学可能になり、希望する小児科に進めると知ったことがきっかけです。

1学年から意見交換会、病院見学バスツアー、病院合同説明会、夏季セミナーに参加させていただいています。意見交換会は、大学・病院・行政の先生方と、制度や進路についてご相談させていただける貴重な機会です。また私は県外出身のため、静岡県について知ることから始めようと、各種説明会、ツアー、セミナー等に参加し、各病院の先生方のご説明や研修医の先生方との交流会を通じて、病院や地域の特徴を学ぶことができています。

受験勉強について

わからない問題は答えを見るだけでなく、なぜその答えになるのかを考え、問題が変わっても対応できるようにしました。散歩を兼ねたウィンドウショッピングをしたり甘い物を食べたりして息抜きしていました。

大学での生活について

本学は地域枠の学生を対象にした講義と実習が1学年から4学年まであり、地域医療について系統立てて学べました。講義で産婦人科・小児科・救急救命科・内科・外科の現状や、地域

関西医科大学/令和4年度入学(地域枠) 兵庫県出身

医学生編

氏田 彩花さん

医療、在宅医療、高齢化社会における医療・看護について学んだ後、実習で本学附属病院や静岡県の市中病院で見学させていただきました。

部活動は混声合唱団と東洋医学研究部に所属しています。部員には医学部・看護学部・リハビリテーション学部の学生がおり、楽しく活動しています。学部も学年も違う部員と一緒に活動することで、チーム医療で患者さんの診療に携わる際の一助になると感じています。

医学部を目指す学生にメッセージ

受験勉強中は長い道のりに感じることもありましたが、試行錯誤しながら過ごした経験が大学生活に活かしています。皆さんの合格を心より祈念しています。



全国の静岡県医学修学研修資金 奨学金利用者からの声

昔からの憧れであった医師になりたいと思い、誰かのために生きる人生を夢見ていたから。 愛知医科大学

きっかけは医療ドラマでした。身近な人の死や罹病を通じて、人命や健康を守りたいと本気で思い、医師を志しました。 近畿大学

小さい時に入院を繰り返していた時期があり、私を何度も診ていただいて治してくれた医師を見て私も医師を目指しました。 東海大学

医療に興味があり、身近な人の健康を支えたいと思ったから。 島根大学

手厚いサポートのシステムに魅力を感じたため。 関西医科大学

勉強は大変だと思いますが、将来に直結する内容を学校で学べるので日々の勉強が楽しいです。頑張ってください。 東京医科大学

大変だと思いますが入学後はとても楽しいので頑張ってください。 聖マリアンナ医科大学

地元に戻って県の医療について学び、貢献したいから。 島根大学

静岡県内で働きたい思いがあり、県に貢献していきたいと考えたため。 東海大学

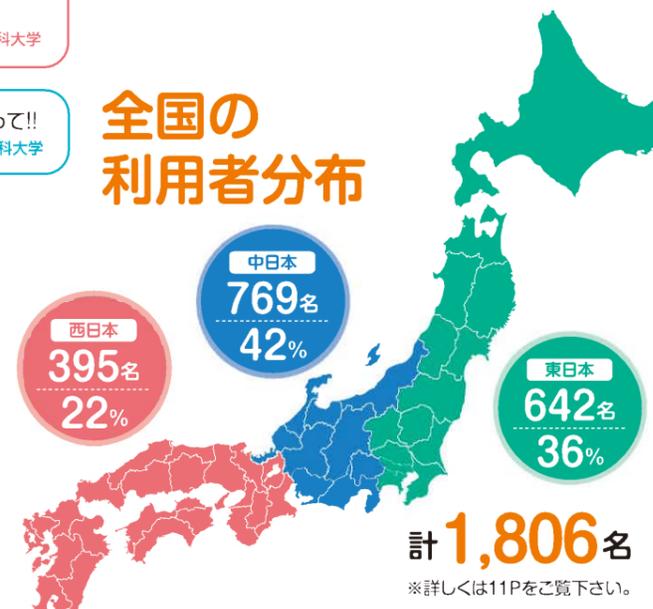
夢をあきらめずがんばって!! 関西医科大学

しっかりと情報収集を行った上で、自分と合う特色を持った大学を探し、体調に気をつけて勉強を頑張ってください。 昭和医科大学

勉強など大変だと思いますが、医師になるために必要なことなので頑張ってください。 三重大学

奨学金など大変だと思いますが、医師になるために必要なことなので頑張ってください。 三重大学

Q2 数ある奨学金の中から静岡県医学修学研修資金を選択した理由



Q3 医学部進学を目指す高校生へのメッセージ



医学生編 昭和医科大学/令和3年度入学(地域枠) 千葉県出身 土屋 花優さん

医師を目指したきっかけ

かつて看護師として大学病院に勤務しており、在宅医や地域の医療資源不足により、自宅退院が叶わない多くの事例を経験しました。自ら医師として在宅医療に貢献し、患者さんとご家族、日本の地域医療を支える在宅医として活躍したいと考えています。

静岡県医学修学研修資金について

私立大への進学には、経済的支援が必要であったため、静岡県の地域枠が設けられている本制度に魅力を感じ利用しました。奨学生向けの説明会や病院見学バスツアーでは、県内で働く

医師や研修医の先生方から直接お話を伺うことができ、将来医師として働く自分の姿をより具体的にイメージすることができました。他大学の医学生との交流も大きな刺激となっています。

受験勉強について

医学部受験に求められる基礎から応用

までの様々な知識を身につけるためには何よりも復習が大事だと思います。同じ問題を翌日、1週間後、1ヶ月後と間隔を開けて見直しや、解き直しを行い、理解できていない、忘れてしまった所は、納得できるまで先生に質問をしました。

大学での生活について

大学では診療参加型臨床実習に力を入れており、実際に患者さんを受け持ち、指導医のもとで医療チームの一員として治療に参加しています。座学では学ぶことができない貴重な経験をする中で、患者だけに目を向けるのではなく、患者さんの価値観や社会背景なども含めた全人的な医療の大切さを日々実感しています。

医学部を目指す学生にメッセージ

自分の夢に向かって努力できることは、本当に素晴らしいことだと思います。日々の小さな積み重ねが必ず力になります。周りへの感謝の気持ちを忘れず、なによりもからだを大切にしてください。



しずおかバーチャルメディカルカレッジ

理事長／鈴木康友 名誉学長／本庶佑 学長／宮地良樹

静岡県地域医療支援センターの運営する仮想医科大学「しずおかバーチャルメディカルカレッジ」では、静岡県医学修学研修資金を利用して全国の医学生等を対象として、県内イベントの開催やウェブコンテンツの配信を行っています。また、卒業後は、全国の協定締結大学や公的病院等との連携により、静岡県での勤務をサポートします。カレッジ入学前の高校生には、医師・医学部進学を目指す方に向けたセミナーの開催をしています。

高校

医学部(6年間)

しずおかバーチャルメディカルカレッジに入学するまで

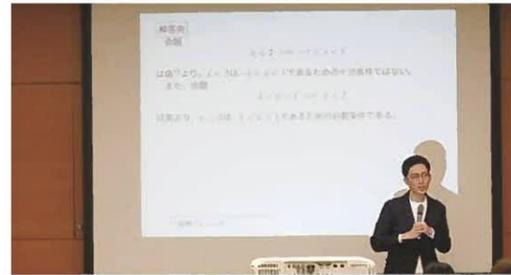
こころざし育成セミナー 夏

県内病院の協力により、医師の講話、模擬手術体験、施設見学などを行っています。



フォローアップセミナー 冬・春

大手大学進学塾による受験対策講座、静岡県地域枠設置大学の紹介などを行っています。



県内外の大学医学部へ進学

静岡県医学修学研修資金の貸与

月額20万円の貸与(6年間)

詳しくは11~12Pをご覧ください

入学

しずおかバーチャルメディカルカレッジ

しずおかバーチャルメディカルカレッジに入学してから

しずおかバーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー

県内で活躍する医師の講演会や先輩医師であるリクレーター等との昼食会やグループワークを行い交流を深めています！



参加者の声

- ・ 将来、静岡県で働く仲間を知ることができ、また将来のことを考え、それを実現させるモチベーションアップに繋がりました
- ・ 宮地先生の講話を聴いて、自分の関心事の1つである「診療科選び」についての指針を得ることができました
- ・ グループワークでは、年齢の近い、将来共に静岡で働く人たちと話すことができ、新たな視点を得るなどいい刺激となりました

医学部(6年間)

臨床研修(2年間)

専門研修

医学修学研修資金利用者意見交換会

キャリア形成支援医師や先輩医師との交流を通して地域医療を学びます。



参加者の声

- ・ 制度全般について理解することができた
- ・ 将来のキャリアをイメージすることができた

病院合同説明会

県内臨床研修病院の指導医や先輩研修医が研修内容や勤務について説明します。



参加者の声

- ・ 各病院の特徴を知り、比較することができた
- ・ 出展病院が充実していた

静岡県には24の臨床研修病院があり、特色ある臨床研修プログラムを用意

医師臨床研修マッチングに参加し研修先を決定

- Welcome Seminar in Shizuoka
- 屋根瓦塾 in Shizuoka

詳しくは19Pをご覧ください

医師キャリア形成支援業務

静岡社会健康医学大学院大学
県立総合病院

浜松医科大学

キャリア形成支援、医学修学研修資金被貸与者の勤務先病院の決定支援

静岡県内の病院では全19領域の専門研修プログラムを用意

専門研修期間中

プログラムリーダー、県と協議の上、勤務先を決定

専門研修後

専任医師との面談を実施、県と調整の上、専門研修後の勤務先決定

専門研修プログラム



HP上で最新の情報を確認できます

地域医療提供体制の確保に向けた協定締結

浜松医科大学、順天堂大学と連携協定を締結し、卒業後の皆さんの医師としてのキャリアを支援するため、医師不足地域への指導医派遣等の研修環境を充実させていきます。

連携協定の第1弾として、浜松医科大学においては、東部地域への指導医等の派遣及び病院総合診療医の育成を始めます。

また、順天堂大学については、東部地域にこれまで無かった産婦人科と小児科の専門研修プログラムの整備を進めています。



浜松医科大学



順天堂大学

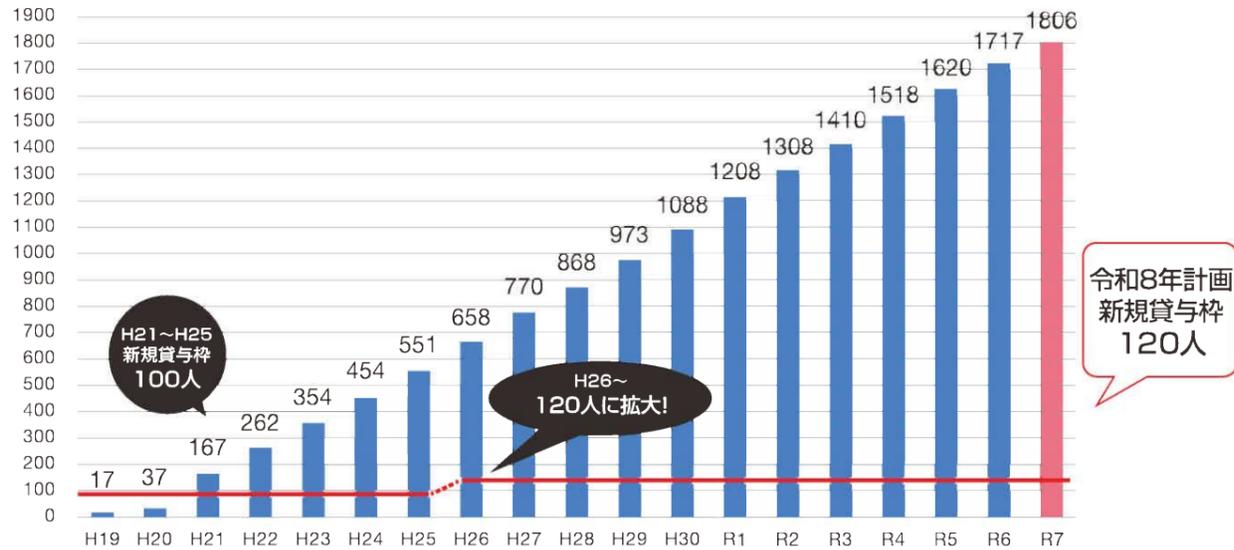
静岡県が徹底サポート! 静岡県医学修学研修資金制度

制度の概要

貸与期間	原則6年間(正規の修業年限)
貸与額	月額20万円(6年間総額1,440万円)
返還免除 勤務期間	勤務義務: 9年間(貸与期間の1.5倍の期間) 履行期限: 16年間(貸与期間の2倍+4年)
貸与枠	【一般枠】入学後に県へ貸与申請し、書類審査・面接審査を経て貸与決定 (対象: 全国の医科大学) 【大学特別枠】入学後に大学へ貸与申請し、大学から県への推薦を経て貸与決定 (対象) 浜松医科大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、慶應義塾大学、杏林大学、 東京慈恵会医科大学、日本大学、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、 聖マリアナ医科大学、昭和医科大学、岐阜大学、京都大学、国際医療福祉大学 【地域枠】貸与を受けることを条件に別枠入試にて出願⇒合格となった場合貸与決定 (対象: 指定10大学)
診療科の指定	なし

※大学院生や専攻医を対象とした制度もあります。
(注) 令和元年度以前に貸与を開始された方は、一部内容が異なりますのでご注意ください

実績(令和8年1月現在1,806人が利用しています)



大学別利用者

大学名	利用者	大学名	利用者	大学名	利用者	大学名	利用者
浜松医科大学	595	山梨大学	18	東京科学大学	9	東邦大学	4
聖マリアナ医科大学	98	秋田大学	17	東北大学	8	京都府立医科大学	3
川崎医科大学	94	名古屋大学	17	山形大学	8	神戸大学	3
近畿大学	75	三重大学	16	熊本大学	8	兵庫医科大学	3
関西医科大学	65	獨協医科大学	15	弘前大学	8	東北医科薬科大学	3
昭和医科大学	60	滋賀医科大学	14	岐阜大学	7	佐賀大学	2
東海大学	57	福井大学	13	宮崎大学	7	愛媛大学	2
日本大学	54	金沢医科大学	13	群馬大学	7	和歌山県立医科大学	2
日本医科大学	40	島根大学	12	山口大学	7	大阪市立大学	2
順天堂大学	40	琉球大学	12	旭川医科大学	6	東京大学	2
藤田医科大学	31	徳島大学	11	信州大学	5	福岡大学	2
帝京大学	28	国際医療福祉大学	11	鳥取大学	5	香川大学	2
杏林大学	24	福島県立医科大学	10	京都大学	5	鹿児島大学	2
愛知医科大学	23	久留米大学	10	北海道大学	5	大阪大学	1
北里大学	23	高知大学	10	広島大学	5	千葉大学	1
東京医科大学	19	富山大学	10	大阪医科薬科大学	5	九州大学	1
東京慈恵会医科大学	19	名古屋市立大学	10	大分大学	5	札幌医科大学	1
東京女子医科大学	19	若手医科大学	10	長崎大学	4		
埼玉医科大学	19	慶應義塾大学	9	横浜市立大学	4		
金沢大学	18	新潟大学	9	筑波大学	4		
							1,806

静岡県と連携する大学

静岡県では、県内外の大学と連携して、在学中から卒業後までの様々な支援を通じて、本県の地域医療に貢献する医師の育成を行っています。

静岡県地域枠を設置する10大学

 <p>浜松医科大学 所在地: 静岡県浜西市 地域枠定員: 9名 入試サイト: www.hama-med.ac.jp</p>	 <p>順天堂大学 所在地: 東京都文京区 地域枠定員: 5名 入試サイト: www.juntendo.ac.jp/academics/faculty/med/</p>
 <p>近畿大学 所在地: 大阪府堺市 地域枠定員: 10名 入試サイト: kindai.jp/exam/</p>	 <p>川崎医科大学 所在地: 岡山県倉敷市 地域枠定員: 10名 入試サイト: m.kawasaki-m.ac.jp/examination/</p>
 <p>東海大学 所在地: 神奈川県伊勢原市 地域枠定員: 3名 入試サイト: www.med.u-tokai.ac.jp/web/eei/</p>	 <p>帝京大学 所在地: 東京都板橋区 地域枠定員: 2名 入試サイト: www.teikyo-u.ac.jp/applicants/</p>
 <p>関西医科大学 所在地: 大阪府枚方市 地域枠定員: 5名 入試サイト: www.kmu.ac.jp/admissions/</p>	 <p>日本医科大学 所在地: 東京都文京区 地域枠定員: 4名 入試サイト: www.nms.ac.jp/college/hyushi/</p>
 <p>昭和医科大学 所在地: 東京都品川区 地域枠定員: 8名 入試サイト: adm.showa-u.ac.jp/</p>	 <p>日本大学 所在地: 東京都板橋区 地域枠定員: 3名 入試サイト: www.nihon-u.ac.jp/admission_info/</p>

キャリア形成卒前支援

地域枠で入学した方等に対し、在学中から卒業後に県内の地域医療に貢献するキャリアを描いていただくために、キャリア形成卒前支援を行っています。講義や勉強会、病院見学ツアーなどを通して、静岡県の医療を知っていただく様々な機会を設けています。



静岡県との協定締結大学 聖マリアナ医科大学

平成26年度に協定締結。医学生の育成や指導医の派遣を通じて、県東部地域の医療の確保に取り組んでいます。

勤務先決定方針



貸与枠	令和2年度以降 入学者	令和元年度以前 入学者
一般枠	臨床研修終了後、返還免除勤務期間のうち4年間は、県の指定する地域(医師多数区域以外)を想定)で勤務 ※希望者は、キャリア形成プログラムを適用	専門研修終了後、残りの勤務義務期間を各1/2ずつA・B地域に所在する病院で勤務 【A病院】 本人が希望する地域(A地域)で県が指定する病院 【B病院】 A病院が属する地域(東部・中部・西部)とは異なる地域(B地域)で県が指定する病院
大学特別枠	本人の意向を聴取し大学と協議した上で県が個別に指定する機関で勤務	
地域枠	キャリア形成プログラムの適用 (臨床研修終了後、7年間のうち4年間は医師少数区域等で勤務)	【キャリア形成プログラムを希望】 キャリア形成プログラムの適用(大学6年時に適用同意書を提出) 【キャリア形成プログラムを希望しない】 一般枠と同様の勤務

返還免除を受けるための勤務シミュレーション (令和2年度以降入学者)



医学修学研修資金の県内勤務者数 (令和7年4月現在)

東部			中部			西部		
圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計	圏域名	病院名	計
賀茂	下田メディカルセンター	2	静岡	県立こころの医療センター	2	中東遠	磐田市立総合病院	47
熱海 伊東	伊東市民病院	4		県立こども病院	8		中東遠総合医療センター	33
	公的医療機関等以外	1		県立総合病院	47		市立御前崎総合病院	4
駿東 田方	静岡医療センター	19		静岡市立静岡病院	40		菊川市立総合病院	10
	県立静岡がんセンター	12		静岡市立清水病院	5		公立森町病院	4
	沼津市立病院	18		静岡赤十字病院	27		浜松労災病院	6
	三島総合病院	1		静岡済生会総合病院	30		天竜病院	1
	沼津中央病院	2		JA静岡厚生連 静岡厚生病院	1		浜松医療センター	41
	NTT東日本伊豆病院	1		清水駿府病院	1		国民健康保険佐久間病院	1
	聖隷沼津病院	3		JCHO清水さくら病院	1		市立湖西病院	1
順天堂大学医学部附属静岡病院	14	公的医療機関等以外	7	浜松赤十字病院	12			
公的医療機関等以外	2	島田市立総合医療センター	13	JA静岡厚生連 澁州病院	22			
富士	富士宮市立病院	24	志太 榛原	焼津市立総合病院	16	聖隷浜松病院	37	
	共立蒲原総合病院	2		藤枝市立総合病院	25	聖隷三方原病院	33	
	富士市立中央病院	18		コミュニティホスピタル甲賀病院	1	浜松医科大学医学部附属病院	140	
	鷹岡病院	3		公的医療機関等以外	1	公的医療機関等以外	10	
公的医療機関等以外	6							
東部計	132	中部計	225	西部計	402			

※公的医療機関等以外は返還免除後の定着者等
※医師少数区域・医師少数スポット等は、今後変更になる可能性があります。

合計 759名

静岡県キャリア形成プログラムの概要

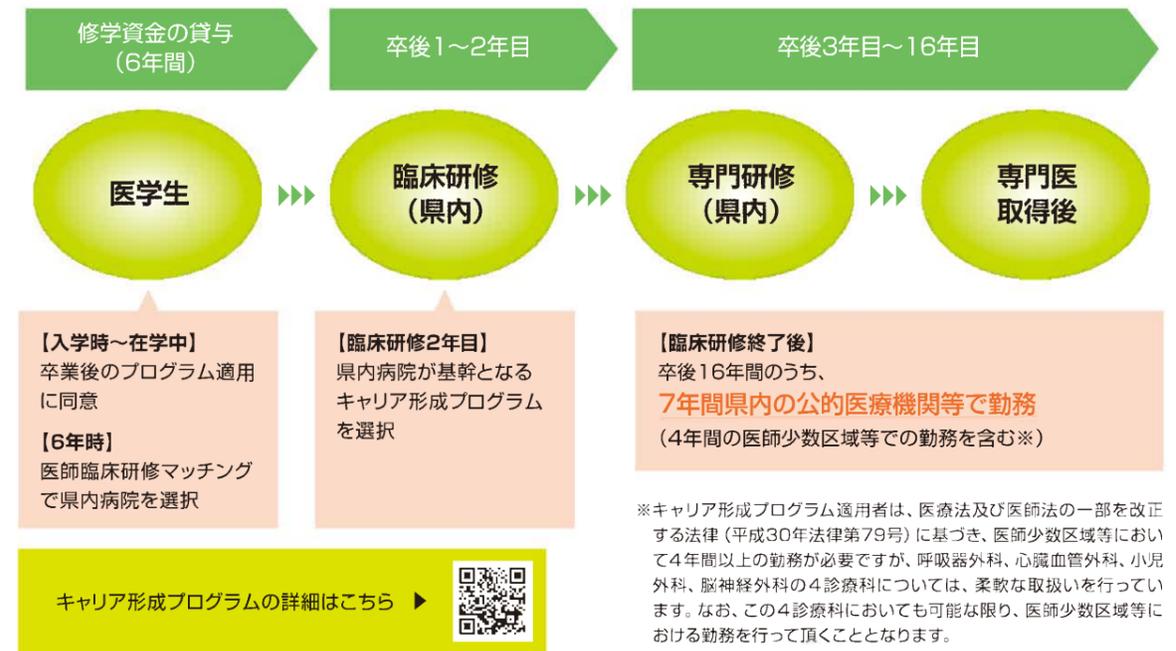
(1) 概要

医師としての能力開発の向上・地域医療への貢献を両立することができるプログラム

(2) 対象者

- ・地域枠医師
- ・一般枠、大学特別枠医師のうち希望する医師(6年生進級時に適用同意)
- ・令和元年度以前に貸与を開始した地域枠医師のうち希望する医師(6年生進級時に適用同意)

(3) プログラムイメージ



※キャリア形成プログラム適用者は、医療法及び医師法の一部を改正する法律(平成30年法律第79号)に基づき、医師少数区域等において4年間以上の勤務が必要ですが、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科の4診療科については、柔軟な取扱いを行っています。なお、この4診療科においても可能な限り、医師少数区域等における勤務を行って頂くこととなります。

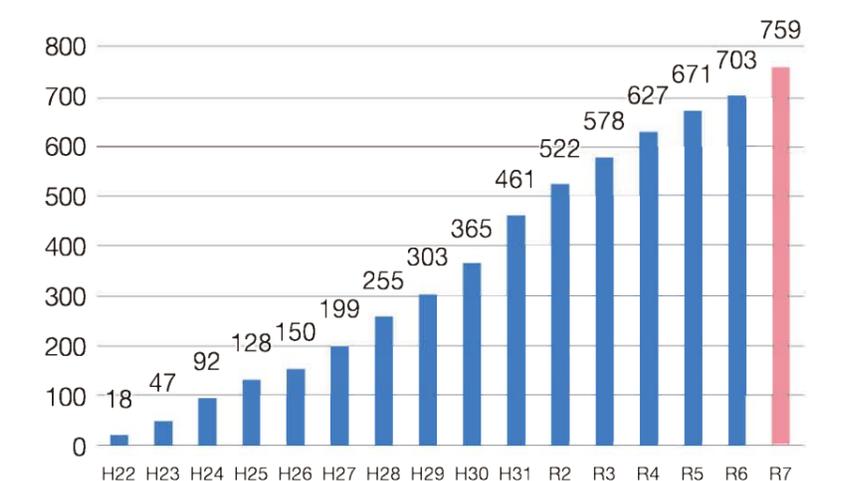
配置対象病院の医師不足状況 (令和7年4月現在)

各診療科の医師不足状況は以下のとおりです。

診療科	不足数	うち医師少数区域等
内科	248	70
皮膚科	17	10
小児科	30	7
精神科	34	13
外科	61	12
泌尿器科	18	9
脳神経外科	31	15
整形外科	29	11
形成外科	9	2
眼科	20	6
耳鼻いんこう科	17	6
産婦人科	35	9
リハビリ科	26	14
放射線科	39	11
麻酔科	54	13
病理診断科	18	6
臨床検査科	4	1
救急科	31	6
総合診療科	7	5
その他	29	3
計	757	229

医学修学研修資金利用者の年度別県内勤務者数(含む定着者数)

令和7年4月現在、759人が県内で勤務しています

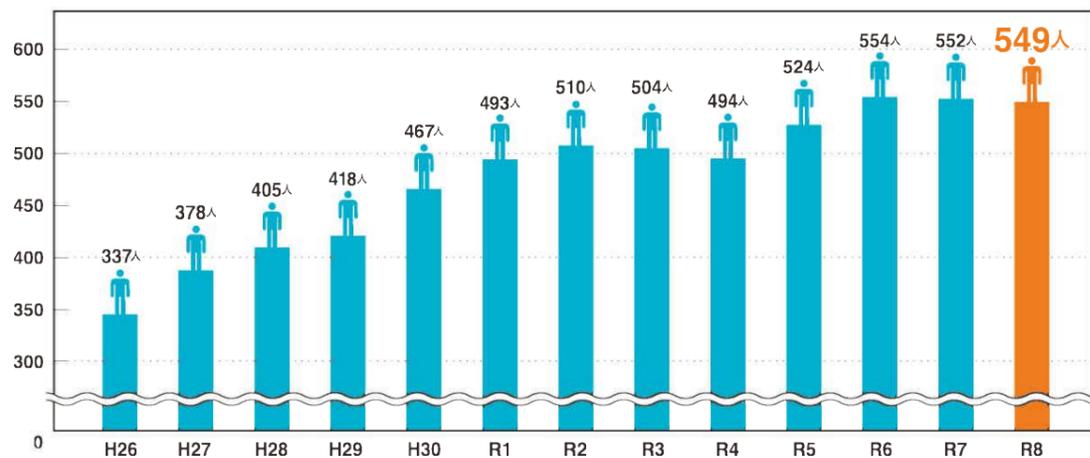


静岡県内 臨床研修病院の魅力

静岡県には、24の臨床研修病院があり、それぞれ特色ある臨床研修プログラムを提供しています。臨床研修医は、平成26年から200名以上増加し、令和8年度に臨床研修を行う医師は549名となる見込みです。このように、静岡県で医師としてのキャリアをスタートする方が増えています。

本県の臨床研修医数の推移

本県では、医学修学研修資金の貸与、しずおかバーチャルメディカルカレッジでの取組、県内各病院との協力を通じて、臨床研修医数のさらなる増加に向けて取り組んでおります。



臨床研修 24病院の一覧

西部地域9病院

- 磐田市立総合病院
- 中東遠総合医療センター
- 浜松労災病院
- 浜松医科大学医学部附属病院
- 浜松医療センター
- 浜松赤十字病院
- JA 静岡厚生連遠州病院
- 聖隷浜松病院
- 聖隷三方原病院

中部地域8病院

- 静岡県立総合病院
- 静岡県立静岡病院
- 静岡県立清水病院
- 静岡赤十字病院
- 静岡済生会総合病院
- 島田市立総合医療センター
- 焼津市立総合病院
- 藤枝市立総合病院

東部地域7病院

- 伊東市民病院
- 国際医療福祉大学熱海病院
- 静岡医療センター
- 沼津市立病院
- 順天堂大学医学部附属静岡病院
- 富士宮市立病院
- 富士市立中央病院

臨床研修病院の掲載ページ



CLOSE UP!

沼津市立病院

臨床研修センター長 / リウマチ膠原病科部長

澤木 俊興 先生

Dr. Toshioki Sawaki



落ち着いた環境で、自分に合ったペースで研修を

中核病院として地域医療を担う

沼津市立病院は県東部の中核病院で、主に沼津市、三島市、富士市東部、裾野市、御殿場市、小山町、清水町、長泉町、函南町などから患者を受け入れています。

24の診療科を有しており、特に消化器内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻いんこう科は、マンパワーや指導体制が充実しています。またリウマチ膠原病科、小児外科、形成外科など比較的マイナーな診療科も揃っており、常勤医が不在の診療科も非常勤医師が外来診療を行い、地域の医療ニーズに応えています。

医師派遣は診療科によって、千葉大学、浜松医科大学、日本大学、北里大学、山梨大学などから受けていますが、直接病院に採用されている医師も多く、出身地や出身大学など多彩な背景を持った医師で構成されています。そのような環境からか、診療科間における垣根も低く相談し易いことなど働きやすい環境が整っています。

各診療科の外来や病棟では、高度な対処が必要な専門性の高い病態に対応しており、これらの症例を入院担当医として経験することができ、積極的に研修へ参加すれば、内視鏡や手術など様々な手技を行う機会が得られます。一方、研修医は各内科系で研修を行うことと並行して総合内科外来研修を行うことにより、

急性上気道炎、高血圧などCommonな疾患を数多く経験することが可能です。

救急診療から学ぶ

救命救急センターを開設しており、ヘリポートと救急ワークステーションを併設しています。年間3,000件程の救急搬送を受け、約4,300件の救急患者の診療を行っており、夜間・休日は救急輪番制で、各科の二次救急病院として救急車の受入を行っています。また心肺停止、高エネルギー外傷、ドクターヘリ搬送などの三次救急の受入も行っています。

研修医は2年間で最低3ヶ月の救急科研修を行い、それに加え、研修期間を通して月2~4回の当直研修も行います。救急専従の指導医のもと、気管内挿管、人工呼吸管理、救急現場でのEコウ検査、中心静脈ライン、動脈ライン確保などの手技を会得することが可能です。

プログラムは比較的自由度が高く、融通がきく

必修科目の条件を満たしていれば、それ以外の期間は個々の希望で様々な研修を受講することが可能です。常勤医師が不在の診療科以外でも、近隣の協力病院で研修が可能です。直近10年間で、院外

の研修協力病院は徐々に増えており、先輩研修医も積極的に協力病院での研修を利用しています。

また研修医に対するセミナーが、各科指導医により様々なテーマで通年開催されています。研修医は症例検討会と病理検討会を各年1回以上担当することで、症例に対する考察能力や発表、プレゼン、質疑応答の技術を互いに研鑽し合います。

「程よい田舎」と街のバランスのとれた暮らし

沼津市は静岡県の東部、伊豆半島の西の付け根に位置し、駿河湾や沼津アルプスの山々に囲まれ、マリノジャや自然を楽しむことができます。人口は約18.5万人で、大型の商業施設や沼津港、駅周辺には様々な飲食店や商店などが立ち並び、暮らしやすい環境でもあります。

また、新幹線を利用すれば東京までは約1時間、名古屋までは約1時間半、当院のすぐ近くには高速道路のICがあり、気軽に都市部へ遊びに行くこともできます。

都会から離れた「程よい田舎」で、腰を据えて落ち着いた研修生活を送ることが可能です。仲間と切磋琢磨しながら、沼津での生活を楽しんでみてはいかがでしょうか。是非一度、当院へ見学にお越しください!

沼津市立病院

所在地 : 静岡県沼津市東椎路字春ノ木550

TEL : 055-924-5100

E-MAIL : byoin-so@city.numazu.lg.jp



病院長 伊藤 浩嗣





CLOSE UP!

静岡市立清水病院

病院長 / 教育研修・病院事業管理室長 / 小児科

上牧 務 先生

Dr. Tsutomu Kamimaki

— 富士山を望む港町で、「診る力」と「寄り添う心」を育てる2年間 —

病院の概要

静岡市立清水病院は、静岡市清水区（人口約22万人）の医療を支える中核病院として、急性期から回復期まで一貫した医療を提供している総合病院です。標榜診療科は29科、許可病床数は463床。急性期病床に加え、回復期リハビリテーション病棟も備え、幅広い疾患・病期の患者さんを受け入れています。日本平のふもと、富士山を望むロケーションにあり、静岡駅から車で約25分、東名高速清水ICから約15分と、県外からのアクセスも良好です。

研修の特徴

1. 少人数だからこそできる手厚い指導

初期臨床研修医は各学年6名程度の少人数体制です。研修医一人ひとりの顔と名前がすぐに覚えらる規模で、指導医・上級医はもちろん、コメディカルスタッフとも距離が近く、気軽に相談できる雰囲気があります。

2. 幅広い症例を経験できる地域の基幹病院

周辺に大規模病院が少ないため、救急から専門診療まで、日常診療で遭遇する一般的な疾患はもちろん、重症例や稀な疾患まで、多彩な症例が集まります。地域密着型の基幹病院として、初期から濃い臨床経験を積むことができます。

3. 専門医によるマンツーマンに近い実践的指導

各診療科には専門医・指導医が配置されており、病棟業務・救急対応・各種手技を、現場で一つひとつ丁寧に指導します。「見ているだけ」ではなく、自ら考え、手を動かし、責任をもって診療に参加することを重視したプログラムです。

4. 人間性も育てる風通しの良い職場環境

診療科の垣根が低く、困ったときにすぐ質問できる雰囲気があります。診療技術だけでなく、コミュニケーションやチーム医療、キャリア形成についても親身に相談に乗ってくれる指導医が多いことが、先輩研修医の声からも伝わってきます。

研修プログラムの概要

静岡市立清水病院の臨床研修プログラムは、プライマリ・ケアに必要な基本的診療能力の修得と、人間性豊かな臨床医の育成を目標としています。

必修科目(例)

- 内科（一般外来を含む）・救急（麻酔科を含む）・外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療

これらをバランスよくローテーションし、2年次には選択科目を組み合わせることで、自身の進路や興味に合わせた研修計画を立てることができます。一部診療領域については、連携施設（静岡市立静岡病院・浜松医科大学医学部附属病院

など）での研修も可能です。地域医療研修では、在宅医療や外来診療を行う近隣診療所での研修を通じて、病院とは異なる現場でのプライマリ・ケア、在宅医療の実験を経験できます。

働きながら暮らす環境

静岡市清水区は、温暖な気候と海・山に囲まれた自然環境、おいしい食べ物、人柄の温かさが魅力のまちです。休日には、日本平や三保松原などの観光地へのドライブ、静岡市中心部での買い物やグルメも気軽に楽しめます。オンとオフを切り替えながら、2年間を通して心身ともに充実した研修生活を送ることができます。

医学生・研修希望者のみなさんへ

静岡市立清水病院は、

- 「しっかり手を動かして力をつけたい」
- 「一人の患者さんに責任をもって診ていきたい」
- 「地域に根ざした総合的な医療を学びたい」

そんな思いを持つ皆さんにこそ、ふさわしい研修先です。最初は誰でも不安を抱えています。その不安に寄り添いながら、一から丁寧に育てていく文化が当院にはあります。富士山を望む港町・清水で、医師としての第一歩を、私たちと一緒に踏み出してみませんか。

静岡市立清水病院

所在地：静岡県静岡市清水区宮加三1231番地
TEL：054-336-1111
E-MAIL：smz-hsp-keiei@city.shizuoka.lg.jp



病院長 上牧 務



CLOSE UP!

磐田市立総合病院

副病院長 / 教育研修センター長 / 呼吸器内科

妹川 史朗 先生

Dr. Shiro Imokawa

～「型を身に着けた臨床医」になることを目指して～

静岡県中東遠地域の中核病院

磐田市立総合病院は静岡県の中東遠地域に位置する中核病院のひとつで、全部で34の診療科を開設しています。救命救急センター、周産期母子医療センター、がん診療センターの機能を有し、がん診療連携拠点病院にも認定され、救急疾患、小児・産婦人科疾患、悪性疾患を含めて多くの症例を経験できます。

プログラムの特徴

2年間の研修が終了した時点で基本的な診療能力を習得する（型を身に着けた臨床医になる）ため、週1回開催している臨床推論のカンファレンス、救急ピットフォールカンファレンス等を通じて理論的な診断のプロセスや、救急外来での対応の仕方を学んでもらいます。そして、実際に診療した患者さんの振り返りを行い、次の診療に役立てるとともに、これらの情報を研修医同士で共有することにより、自分で経験した症例以外の疾患についても学ぶことができます。

各科のローテーションでは、上級医、指導医の指導のもと患者さんを担当し、

実際の診療を学びます。段階に応じて各種手技も積極的に実施してもらいます。

また、初期臨床研修に必修な診療科のローテーションとともに選択の期間が6ヶ月あります。自分の将来専攻する診療科を迷っている場合は、その診療科をローテーションした上で決めることができます。

学会への参加や発表等、学術的な活動も積極的に進めており、学会発表を通じて関連する論文を読むことは疾患への理解が深まり、プレゼンテーション能力も向上します。

良好な研修環境

当院の初期臨床研修医の募集人数は14名ですが、浜松医科大学のプログラムで1年間当院での研修を受けられる先生が各学年2～3名おり、現在1年目・2年目あわせて合計33名の研修医（先生）が在籍しています。医局は研修医の先生だけの部屋となっており、電子カルテもあるため、症例の共有や情報交換等を行いやすい環境です。各自机と書棚があり、勉強するにも困ることはありません。

お互いに切磋琢磨しながら成長する環境 (Teaching is Learningの実践)

他人に教えることは自身の知識の定着にもなり、また、教えることにより新たな気づきも生まれます。医師としてスタートする2年間の初期臨床研修を共に過ごす同期との繋がり、生涯のかけがえない財産となるでしょう。お互いに助け合いながら切磋琢磨する環境を病院として整えています。“磐田で始めるきみの未来”。自らが成長を実感できる、楽しく達成感のあるプログラムで私たちと一緒に学び、成長しましょう。

磐田市立総合病院

所在地：静岡県磐田市大久保512-3
TEL：0538-38-5076
E-MAIL：byoin-kenshu@city.iwata.lg.jp



磐田市病院事業管理者兼病院長 山崎 薫



臨床研修医向け研修会

静岡県では、卒後1・2年目の臨床研修医数が年々増加しており、令和8年度に県内で医師臨床研修を行う方は、500人以上となります。

増加する臨床研修医の指導と交流を目的に、静岡県が県医師会と協力し、講演会や実践形式での研修を通して臨床研修医ならびに若手医師のキャリアパス支援事業に取り組んでいます。

Welcome Seminar in Shizuoka

臨床研修医ならびに若手医師のキャリアパス支援事業の一環として、「医師臨床研修指導ガイドライン」で研修期間内に研修が必要とされる項目をテーマに、年3回に分けてセミナーを開催しています。

屋根瓦塾 in Shizuoka

臨床研修医の県内定着促進のため、「屋根瓦塾 in Shizuoka2025」を東・中・西部各地区で開催しました。臨床研修医が参加し、先輩医師が実演や講義を通して医療の知識・技術を伝達しました。



静岡県医師バンク

静岡県では、県内の医師確保や医師偏在解消を目的として、一般社団法人静岡県医師会と協力し、県内で働きたい医師への就業支援を行う医師向け無料職業紹介サイト「静岡県医師バンク」を運営しています。

「静岡県医師バンク」では、県内医療機関の求人情報を掲載しているほか、最新の勤務医関連情報や、研修会情報、キャリア支援情報等、キャリアアップを希望される医師の皆様役に役立つ様々な情報を発信しています。

医師の皆様からの御相談には、アドバイザー医師による面談を通じて、求人医療機関にとっても納得いただけるマッチングとなるよう、きめ細やかな対応を行っています。



静岡県医師バンク運営事務局

電話：054-246-6151（一般社団法人静岡県医師会内）

E-mail：dr-bank@jim.shizuoka.med.or.jp

静岡県医師バンク専用サイト

<https://www.shizuoka-doctorbank.jp>



メディメッセージ2025

みんなの力を医療の力に。

静岡県では、県民の皆さんと医療現場で働く医療従事者とが交流するイベント「メディメッセージ」を開催しています。

メディメッセージ2025には、2日間で延べ5,600人が来場し、医師のトークライブや本物の医療技術に触れて学ぶ体験コーナー、医療チームによる最新技術の実演など、将来の地域医療を担う子供たちに、医療の魅力を伝えました。

静岡県は今後も県内の医療機関や関係団体と力を合わせて未来の担い手作りの支援を行います。



主催 メディメッセージ2025実行委員会（一般社団法人静岡県医師会、公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター、協和医科器械株式会社、株式会社アルバース、静岡県）

静岡県で働く女性医師のみなさんを応援します！ 静岡県女性医師支援センター

静岡県では、医師としてのキャリアを大切にしながら、仕事と家庭の両立を図れるよう支援するため、「静岡県女性医師支援センター」を設置しています。

センターには浜松医科大学の医師が専任コーディネーターとして在籍し、大学の各診療科や県内の医療機関と連携しながら、復職やキャリア形成に関する相談・情報提供を行っています。

また、さまざまなライフステージに応じて働きやすい環境づくりをサポートし、県内の方だけでなく、県外から静岡県へ転居される医師の方も静岡県の医療機関で活躍できるよう支援しています。



ロールモデル講演会

仕事と家庭の両立で苦労したことや乗り越えるコツなど、それぞれの経験を基に講演いただきました。



キャリア支援シンポジウム

「未来をつなぐ指導医の育て方～静岡の魅力あるキャリア支援を考える～」をテーマに講演や座談会を通じて課題や今後の展望など意見交換を行いました。



お問合せ 浜松医科大学医学部附属病院 医師トータルサポートセンター内

☎ 053-435-2380

✉ dr-info@hama-med.ac.jp

ホームページはこちらから→



SNSも毎週更新中！



Facebook



Instagram

寄附による医師確保支援



静岡県は株式会社ファミリーマート、松岡紙業株式会社（富士市）と医師確保支援に向けた協定を締結し、静岡県医学修学研修資金貸与事業への継続的な寄附を受けています。2025年3月に、第6回の寄附贈呈式が行われ、知事から感謝状を贈呈いたしました。

ファミリーマート店舗に設置した古紙等回収ボックスから回収された古紙等の売却益等の一部が両社により静岡県に寄附され、医師確保に活用されます。



医師をこころざしてから県内で活躍するまでをサポート
静岡県地域医療支援センター
 本部(県庁)・支部(東部・中部・西部各保健所)

✉ **メールマガジンの配信**

県内の研修病院の紹介など、今後の勤務や
 研修に役立つ本県の医療に関する最新の情報を2ヶ月に3回のペースでお届けしています!

● **配信内容**

- ・県内で活躍する医師のインタビュー記事
- ・静岡県次世代医師リクレーターからのメッセージ
- ・イベントのお知らせ
 (夏季セミナー、病院合同説明会、こころざし育成セミナー等)
- ・臨床研修病院紹介ページ
- ・関係団体主催イベント告知(自治医科大学)など



この機会にぜひ御登録ください。
 メールマガジン登録フォーム



静岡県地域医療支援センター

事務局本部 TEL:054-221-2868 E-mail:chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

🚌 **病院見学バスツアー**

東部・中部・西部の各支部で、春休み・夏休み
 期間中に、1日で複数の病院を見学できるバスツ
 アーを実施しています。
 先輩医師とお話できる
 チャンスです!



- 実際に研修をしている先生からかなり踏み込んだことまで聞けたので、
 静岡県で生活していくことまで含めてビジョンを持つことができた。
- より自分が働くイメージをしやすくなった。

参加者の声

静岡県地域医療支援センター 支部連絡先

東部支部事務局 TEL:055-920-2076 E-mail:kftoubu-iryou@pref.shizuoka.lg.jp
 中部支部事務局 TEL:054-644-9273 E-mail:kfchuubu-iryou@pref.shizuoka.lg.jp
 西部支部事務局 TEL:0538-37-2793 E-mail:kfseibu-iryou@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県ってどんなところ?

本県は、温暖な気候と豊かな自然や、多彩で高品質な農産物、歴史文化など、魅力あふれるものを
 数多く有しています。ぜひ、静岡県でその魅力に触れてください。



経済基盤

人口 (R7.10.1)

349万2千人

全国 10位

県内総生産 (R4年度)

18兆2,711億円

全国 10位

製造品出荷額等 (R5年度)

19兆7,732億円

全国 2位

1人当たりの県民所得 (R4年度)

348万円

全国 4位

産業



富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトにより、
 関連産業の集積が進み、医療機器生産額は16年連続日本一です。

自然



登録から10周年を迎えた世界文化遺産の富士山や、「世界で最も
 美しい湾クラブ」に加盟する駿河湾など、豊かな自然に囲まれています。

文化



海外でも高く評価されているSPACによる舞台芸術をはじめ、美術、
 文学、伝統芸能など県民が多様な文化芸術活動に携わっています。

特産品



健康志向の高まりなどを背景に、海外を中心に需要が高まっています。
 輸出向け茶葉の生産体制強化と静岡茶ブランドの構築を両輪で
 推進しています。